

## 光化学オキシダントの測定結果(平成16年度)

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染(いわゆる光化学スモッグ)の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成16年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間(午前5時から午後8時まで)の1時間値の最高値が最も高かったのは、中津川測定局の0.152ppmでした。

なお、「岐阜県大気汚染緊急時対策要綱」に基づく光化学スモッグ予報の発令日数は9日(岐阜地域5回、西濃・羽島地域4回、可茂・東濃西部地域8回、恵那・中津川地域3回)であり、光化学スモッグ注意報の発令日数は3日(岐阜地域1回、西濃・羽島地域2回、可茂・東濃西部地域2回、恵那・中津川地域1回)でした。

平成16年度光化学オキシダント測定結果

地域	測定局名	昼間測定日数(日)	昼間測定時間(時間)	昼間年平均値(ppm)	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間とその割合		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数とその割合		昼間の1時間値の最高値(ppm)	日最高1時間値の年平均値(ppm)	環境基準の適否	平成15年度	
					時間	%	日	%				昼間年平均値(ppm)	環境基準の適否
岐阜	岐阜中央	365	5451	0.026	296	5.4	69	18.9	0.109	0.043	×	0.025	×
	岐阜南部	365	5459	0.028	456	8.4	95	26.0	0.123	0.047	×	0.026	×
	岐阜北部	365	5439	0.030	479	8.8	98	26.8	0.127	0.048	×	0.029	×

	各務原	362	5381	0.031	493	9.2	98	27.1	0.123	0.050	×	0.028	×
	羽島	365	5470	0.030	506	9.3	102	27.9	0.135	0.049	×	0.029	×
	平均	/	/	0.029	/	/	/	/	/	/	/	0.027	/
西濃	大垣中央	365	5426	0.025	181	3.3	56	15.3	0.105	0.040	×	0.023	×
	大垣南部	365	5438	0.024	193	3.5	50	13.7	0.106	0.040	×	0.023	×
	平均	/	/	0.025	/	/	/	/	/	/	/	0.023	/
中濃	美濃加茂	365	5436	0.029	467	8.6	98	26.8	0.118	0.047	×	0.028	×
東濃	笠原	365	5445	0.031	625	11.5	114	31.2	0.151	0.052	×	0.029	×
	中津川	365	5460	0.029	555	10.2	102	27.9	0.152	0.050	×	0.028	×
	平均	/	/	0.030	/	/	/	/	/	/	/	0.029	/
飛驒	高山	365	5443	0.028	225	4.1	52	14.2	0.111	0.042	×	0.026	×
	乗鞍	327	4828	0.052	1130	23.4	153	46.8	0.126	0.061	非適用	/	/
	平均	/	/	0.040	/	/	/	/	/	/	/	0.026	/
県平均		/	/	0.030	/	/	/	/	/	/	/	0.027	/

備考)

- 1 県地球環境課調べ
- 2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す。
- 3 環境基準に適合しているとは、1時間値が 0.06ppm 以下であることを示す。

○過去 10 年間の経年変化

